

バンドー モミすりロール

農機用ベルト

カントリーエレベーター・ライスセンター用



バンドー製品は、「米作り」のいろいろな工程で活躍しています！

土づくり

ファンベルト（シルバーS）、
サンラインベルト



育苗

Vベルトスタンダード、
サンラインベルト



耕運

農機用Vベルト
RED-SII、W800、ローエッジコグベルト



田植

農機用Vベルト
RED-SII、W800、ローエッジコグベルト



出荷・市場

トラックマット、
パネルカバー



精米

Vベルト：スタンダード、レッド
リブエース



カントリー

収穫・稲刈り

農機用Vベルト
RED-SII、W800、ローエッジコグベルト



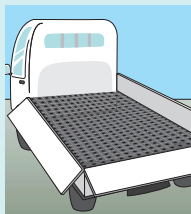
管理

農機用Vベルト
RED-SII、W800、ローエッジコグベルト



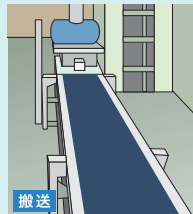
荷受け

- トラックマット
- パネルカバー



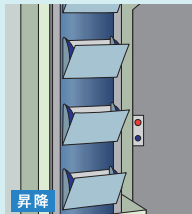
乾燥

- Vベルト：スタンダード、レッド、
パワーエース
- 昇降機用ベルト
(コンベヤ、化繊、綿平ベルト)



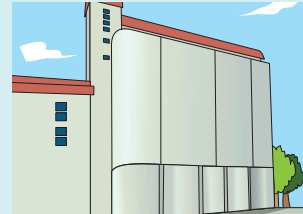
精選

- Vベルト：スタンダード、レッド



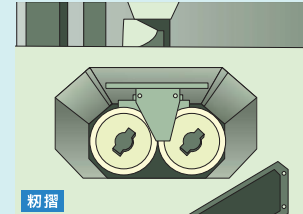
サイロ貯蔵

- Vベルト：スタンダード、レッド
- 昇降機用ベルト
(コンベヤ、化繊、綿平ベルト)



粉摺

- Vベルト：スタンダード、レッド、
モミスリロール
- 昇降機用ベルト
(コンベヤ、化繊、綿平ベルト)



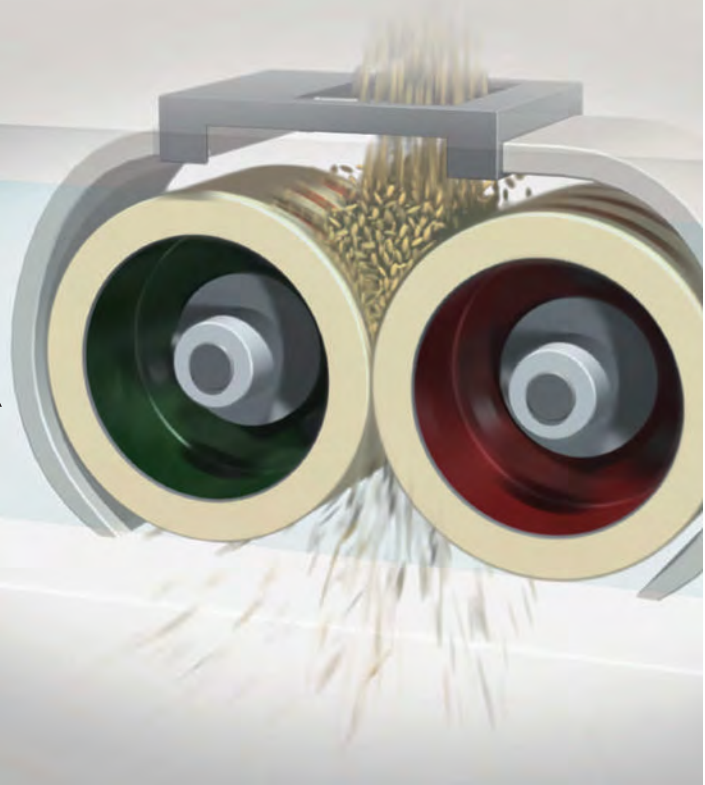
選別・計量

- Vベルト：スタンダード、レッド
- バンコラン板（目詰まり防止板）
- サンラインベルト

農業市場で活躍する、
耐久性に優れた粳すり機用ロール

バンドー

**もみすり
ロール** | **メンテナンス
フリーロール**



特 長

- 耐久性に優れ、長持ちします。
- 最適の硬さで仕上げておりますので、脱ぶ能率は優秀です。
- 硬さと弾性が適度に調和しておりますから、肌ずれ、碎米を最小限に抑えられます。

種 類

ホワイトロール

<合成ゴム使用>

一般農家のお客様で通常のご使用におすすめします。

レッドロール

<耐久性に優れる>

連続して使用頻度の高い、ミニライスセンター及び一般農家におすすめします。

メンテナンスフリーロール

主軸・副軸ロールは同径ですが、主軸用に耐摩耗性の良いゴムを採用する事により主軸及び副軸が同じように摩耗するため、ロールを入れ替える必要がありません。摺りだし玄米の肌ずれも少なく、また、摺りだし玄米量は標準ロールと比較して30%以上向上しており、カントリーエレベーター及びライスセンターでの使用に最適です。

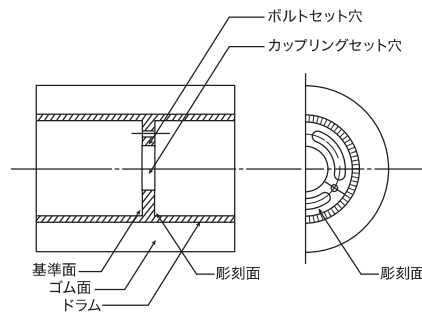
※使用条件により異なる場合があります。

⚠ ご使用上の注意

- ・ 主軸ロールと副軸ロールのロール幅がくい違いのないように取り付けてください。
- ・ ロールのスキマは、一般に締め過ぎると脱ぶ率は上昇しますが、碎米、肌ずれなどがおこり、ロールの摩耗も早くなりますので適度のスキマに調整する必要があります。ロールのスキマは、0.5～1.2mmの間で試しずりを行い、脱ぶ率および米の品質により、適正なスキマにしてください。
- ・ 粳は絶えまなく落としてください。ロールが異常摩耗して脱ぶ率が低下します。
- ・ 粳の中に石、釘などの異物が混ざっていると、ロールを傷つける原因となります。粳の中に異物がないよう注意ください。
- ・ 湿気の少ない、直射日光の当たらない、風通しの良い所に保管してください。

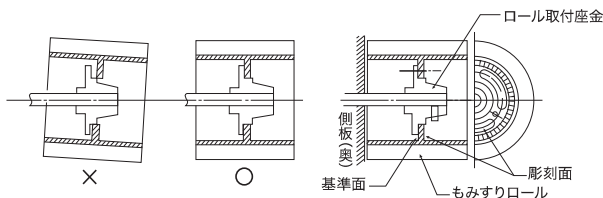
もみすりロールの取り扱いについて

各部の名称

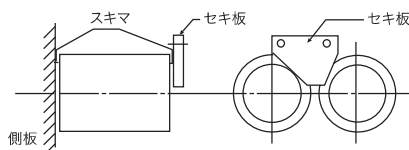


もみすり機への取付

- 1 もみすりロールの彫刻のある面を手前にし、ロール取付座金を真直ぐ押し込んでください。この時ロール取付座金のタップ穴とロールのボルトセット穴を合わすようにして取り付けると便利です。またロール取付座金の当たり面はボルトで締めるため、ゴミ等を取り除き、きれいにしてください。更に主軸ロールと副軸ロールのロール幅のくい違いがないことを確かめてください。ゴミ等を挟んでいますとロールの振れが発生し騒音、振動の発生原因になり、また米の肌ずれ、碎米の発生も起こし、脱ぶ率の低下にもつながります。

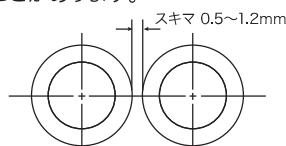


- 2 取付ボルトでもみすりロールをロール取付座金に作業中ゆるまない様、しっかりと取り付けてください。締め方がゆるいとロールの振れが発生し、上述のような現象を発生させます。
- 3 セキ板を取付け、手でロールを廻しロールが側板、セキ板に当たらないか確認してください。ロールがセキ板や側板に当たりますと、ロールが摩擦熱で煙が出たり、高熱のためロールのゴム部に破壊を起こします。



運転前の点検・準備

- 1 もみすりロールのスキマの調整(手動)
ロールのスキマは、ロール調整ハンドルにて0.5～1.2mmに調節し、一度試しずりを行い脱ぶ率及び、米の品質を確認し、希望のスキマに調節してください。ロールを接触させて運転いたしますと、ロール表面温度が極端に上昇し、寿命が短くなり、使用できなくなることがあります。



- 2 ロール中の異物除去
籾の中の石、釘、ガラス、ボルト等の異物を取り除いてください。異物が入っていると、ロール表面を傷つけ、凸凹になったりしてロール寿命を短くするばかりか、脱ぶ率も低下します。

運転中の点検

1 籾の投入方法

本作業に入りましたら籾の投入量はいつも同じ量で絶え間なく作業を続けてください。同じ量で作業を続けないと、ロール表面が右記事例のようになり、脱ぶ率の低下を起こします。



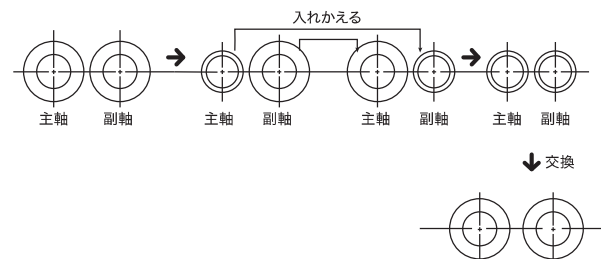
2 機械が停止したり煙が出た場合の処置

大きな異物がロールの間に入った時や、ロールのスキマがなくロールが接触して運転した時等に、機械が停止したり、ロールボックスから煙が出たりします。この場合、モーターの電源を必ず切ってから、次の順番で点検を行い、原因を取り除いた後、作業を再開してください。

- ①モーターの電源をすばやく切り、籾供給シャッターを閉じてください。
- ②ロールの間につまった異物を取り除き、また籾も取り除いてください。
- ③ロール間のスキマを調整してください。
- ④その他不良箇所を直し、主軸を手で廻し、回転できれば作業を再開してください。

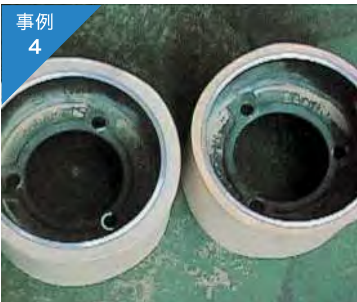
もみすりロールの入れ替え修正

ロールは脱ぶ率を上げるため、主軸と副軸とにロール回転数に差をつけてあります。主軸は副軸より回転数が早いので、主軸ロールの方が早く摩耗します。主軸ロールのゴム厚みが新製品時のゴム厚みの約半分に減った時に副軸ロールと入れ替えて使用してください。主軸ロールが摩耗しますと副軸ロールとの速度差(周速差)が小さくなり、脱ぶ率が低下します。また、残ゴム量が3～5mmになったら、ゴムの弾性が小さくなり、碎米の発生が起こりますので新品と交換してください。



※もみすりロールの取扱につき、上記に記載された内容は、一般論であり、籾の状態により脱ぶ率が変化することをご承知いただきました上、適切な条件にてご使用いただきますようお願いいたします。
※ロールは日光等の影響で変色しますが、性能に変化はありませんので安心してご使用ください。

もみすりロール異常摩耗の見分け方と処置方法

異常摩耗事例	現象及び原因	対策及び処置方法
事例 1 	● ロールの固定力が弱くなったの軸振れ、または粉の投入量過多や、粉の間欠投入によるロール波打ち摩耗の発生。	● 粉の量を一定量にして、絶え間なく供給する。 ● 粉の投入量は、機械メーカーの取り扱い説明書を参考に適正量に設定する。 ● スプリング(またはエア)圧を調整して、ロールの固定力を高める。 ※もみすりロールは、ロール表面を旋盤で削り直すか、新品と交換する
事例 2 	● ロール側面(芯金・ゴム前面)の接触運転によるロール(特に芯金)の焼け→ゴム接着界の破壊。 ● 表面は異常なし。 ● ドラム内面及びロール側面は焼けて変色している。 ● 内面は黒く炭のようになっている。	● ロールが側板・セキ板に接触しないように正しい位置に取付直す。 ※もみすりロールは、ロール表面を旋盤で削り直すか、新品と交換する
事例 3 	● ロール表面に異物接触による筋状の凹凸発生。 ● 異物接触によりロール表面に凹み発生(左側ロール)。 ● そのまま運転を続けると右側ロールの対応する部分は極端に摩耗が進み、凸状が発生する。 ● 凹状は形がはっきりしているが凸状がはっきりした形とならない場合が多い。 ● 凸状筋は凹状摩耗発生後の運転時間により変化する。	● 供給する粉の中に、異物が混入していないかを確認する。異物が混入している場合は取り除く。 ※もみすりロールは、ロール表面を旋盤で削り直すか、新品と交換する
事例 4 	● 軸芯振れによりロールに多角形摩耗発生。 ● 表面及び側面に傷・焼け等の異常は見られない。	● 粉の量を一定量にして、絶え間なく供給する。 ● 粉の投入量は、機械メーカーの取り扱い説明書を参考に適正量に設定する。 ● スプリング(またはエア)圧を調整して、ロールの固定力を高める。 ● 変速歯車の摩耗があれば、歯車の交換及び伝動ベルトを張り直す。 ● 遊動ブラケット・補助ハンドルがゆるんでいる場合は適正な状態まで締め直す。 ※もみすりロールは、ロール表面を旋盤で削り直すか、新品と交換する

□ 産業資材事業部製品のご用命は下記の国内販売会社へ

バンドー・C・S株式会社

www.bandogrp.com/ics

本 社

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-1-1(新大阪プライムタワー9階)
TEL (06) 4806-3058 FAX (06) 4806-2205

北海道・東北支店

札幌営業所

〒062-0020 北海道札幌市豊平区月寒中央通2-2-22
TEL (011) 851-2146 FAX (011) 852-6992

仙台営業所

〒984-0826 宮城県仙台市若林区若林5-8-38
TEL (022) 286-8111 FAX (022) 285-5873

北上営業所

〒024-0061 岩手県北上市大通り4-1-3
TEL (0197) 64-7277 FAX (0197) 64-7238

東関東支店

茨城営業所

〒310-0801 茨城県水戸市桜川1-1-25 大同生命水戸ビル9階
TEL (029) 306-6161 FAX (029) 306-6162

千葉営業所

〒260-0842 千葉県千葉市中央区南町2-15-19 MTKビル5階C室
TEL (043) 308-3521 FAX (043) 308-3813

群馬営業所

〒370-0725 群馬県邑楽郡千代田町上中森379
TEL (0276) 86-6111 FAX (0276) 86-6110

関東支店

〒104-0045 東京都中央区築地2-3-4 築地第一長岡ビル4階
TEL (03) 3544-8111 FAX (03) 3544-8118

神奈川営業所

〒243-0018 神奈川県厚木市中町4-4-15 厚木TMビル7階701
TEL (046) 204-9511 FAX (046) 204-9515

中部支店

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-6-5 名古屋錦シティビル5階
TEL (052) 857-0280 FAX (052) 857-0281

関西支店

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-1-1(新大阪プライムタワー9階)
TEL (06) 4806-3024 FAX (06) 4806-3028

神戸営業所

〒673-0892 兵庫県明石市本町2-2-20(朝日生命明石ビル5階)
TEL (078) 915-0920 FAX (078) 915-2520

堺営業所

〒592-0005 大阪府高石市千代田一丁目11番11号 ウエストプラザ高石3階
TEL (072) 275-7981 FAX (072) 275-7982

中四国支店

〒738-8506 広島県廿日市市下平良1-6-11
TEL (0829) 32-2120 FAX (0829) 32-1741

福山営業所

〒721-0907 広島県福山市春日町6丁目11-24
TEL (084) 940-1780 FAX (084) 940-1783

高松営業所

〒761-8054 香川県高松市東ハゼ町20-6
TEL (087) 813-6787 FAX (087) 813-6783

松山駐在事務所

〒791-8041 愛媛県松山市北吉田町1012-4
TEL (089) 972-5130 FAX (089) 972-5131

九州支店

〒812-0025 福岡県福岡市博多区店屋町5-22 朝日生命福岡第二ビル3階
TEL (092) 710-4025 FAX (092) 710-4026

北九州営業所

〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野2丁目8番4号
小倉興産KMM西館202
TEL (093) 521-9587 FAX (093) 551-0153

熊本駐在事務所

〒862-0963 熊本県熊本市南区出仲間7-14-5
TEL (096) 378-2388 FAX (096) 379-1782

鹿児島駐在事務所

〒891-0115 鹿児島県鹿児島市東開町3-7 寺岡第二ビル2階
TEL (099) 260-3466 FAX (099) 260-3467

大分駐在事務所

〒870-0913 大分県大分市松原町3-1-11 大分鐵鋼ビルディング212
TEL (097) 578-7267 FAX (097) 578-7268

北陸バンドー株式会社

http://www.hokurikubando.jp/

本 社

〒930-0834 富山県富山市問屋町3丁目2番19号
TEL (076) 451-2525 FAX (076) 451-8148

金沢営業所

〒920-0024 石川県金沢市西念2丁目37-18
TEL (076) 222-1106 FAX (076) 222-1618

福井駐在事務所

〒918-8037 福井市下江守町23字山花1番地7
TEL (0776) 37-3011 FAX (0776) 36-6110